YouTubeで
オリジナルセミナー動画が見られます！

随時更新

～普通の社労士では
教えてくれない人事労務のこと～

労使トラブル・労働組合折衝に強い！

熱血講義！

事務所代表佐賀豊が

登録・視聴 無料

［会員登録］

ウェブセミナーご登録はコチラ！

ウェブセミナー会員にご登録いただくとこれまでに開催したすべての ZOOMセミナーが全て視聴できます。
ぜひご登録ください！

社会保険労務士法人 佐賀事務所　株式会社 佐賀人事総研　〒115-0045 東京都北区赤羽1-10-11 ショーエービル　TEL.03-5249-3326

労使相愛を実現する会

～伝説の社労士事務所と呼ばれたい～

社会保険労務士法人　佐賀事務所
株式会社　佐賀人事総研
TEL.03-5249-3326

2024 February
2月号
第68号

1 南極大陸フルマラソンから帰還しました
2・3 労働ゴロ集団への対処法＆南極フルマラソンのご報告
4 オリジナルセミナー動画が見られます！

発行元：社会保険労務士法人 佐賀事務所　株式会社　佐賀人事総研　赤羽の社労士ブログ https://ameblo.jp/saga-sr/

20th 社労士開業 もうすぐ開業20年 7070日　断酒してから 1988日　断煙してから 6736日

皆様、いつもお世話になっております。

南極大陸フルマラソンから帰還しました。マイナス27度での42.195kmは想像以上に過酷で、中間地点の20km付近では低体温症に陥ってしまいました。
走るどころか歩くのも窮する状態に……強気で鳴らす私も膝に両手をついて、「このレース、ダメかもしれない」と思わず口走ってしまいました。サハラ砂漠250や北オホーツク100とピンチに見舞われた経験は幾度かありますが、歩けなくなるほど体力が削られたのは初の体験。スピードを追求するあまり、超薄着でレースに挑んだのが仇になったのです。上は長袖シャツにゴアテック。下は股引にトレラン用の長ズボン。靴下は3枚重ねが推奨のところを1枚だけ。顔面は素で、サングラスオンリー……。
呼吸の確保を優先してかぶりモノは外し、多少の凍傷は覚悟の上で防寒は捨てたのです。

柔道は座っている姿で、野球はアップで、ランナーは立ち姿でその人の力量がわかるもの。プンタアレナス（集合地である南米最南端の町）のブリーフィング会場で世界各国から集まった参加者を見た時、「強い。勝負を懸けないとシングルは取れない!」と悟ったのです。捨て身の作戦は丁かゼロか!?それにしても南極大陸相手に無謀な勝負を懸けたと、今では反省しきりです。
「強い」と感じた時点で勝負あった!私はその時点で勝利の女神から見放されているのです。自分に嘘はつけない……。足に重りをつけるなど、本当はもっと努力しなければいけなかった、大いに努力する余地があった。準備に抜かりがあると着眼が相手になり、自信があれば着眼は内なる自分になるのです。

レースの実況に話を戻します。
残り21kmを走り切るため、時間はロスしますがテントに戻って服装を南極仕様に変更しました。靴下は推奨の3枚重ねに、厚手のズボンを1枚追加で履き、上着は2枚追加で重ねて着ました。それでも低体温の症状とは恐ろしく、話そうと口を動かすと口が耳の下付近まで引っ張られるような口裂け感覚に陥り、なんとも表現するのが難しい摩訶不思議な感覚に襲われたのです。南極の突風ブリザードに吹かれると、寒冷風が体をすり抜けて全身の体温を奪うように感じられました。頭痛と吐き気も催しましたね。
南極仕様に変更して5kmくらい走ったあたりから体温が戻り始め、低体温の症状が全体的に軽くなっていきました。目標を完走にチェンジ!!なんとか全行程を走り切り、南極ホルダーの仲間入りを果たすことができました。

置き忘れたプライドはリベンジでしか取り戻すことはできない。ただ7大大陸制覇が私の目標なので、南極で足踏みする前に北極マラソンでこの借りの一部を返済しようと計画しています。北極出陣が決まり次第、社労士開業祝20年のメーターを北極出陣までの日数に変更しようと思っています😜。

南極大陸から世界で最も荒れるドーバー海峡を越えてプンタアレナスに戻り、プンタアレナスでは荒れるマゼラン海峡を横目にランニングして帰りの飛行機を待ちました。そして、サンチャゴ→ロサンゼルスを経由して羽田に戻りました。
片道40時間以上。年末年始、誰よりも遠くに飛んだ1人に入るのかな。南極と北極の両極地を完走した日本人は50名弱。7大大陸制覇はもっと希少になるのかな……。
希少価値を高めるために希少に挑む！そんな社労士が開業3万人のうち1人くらいいても面白いのではないでしょうか😜

今月も「充実」を合言葉に、マイベストペースで飛ばして行きます！

佐賀 豊

伝説の社労士の視点から提言させていただきます

労働ゴロ集団への対処法 & 南極フルマラソンのご報告

今月は2本立て。1本は労働組合に関して、もう1本は昨年12月にチャレンジした南極フルマラソンです。

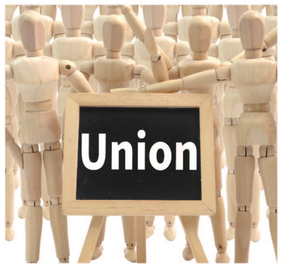
不良社員が企業外労組に駆け込む

まずは労働組合に関してです。労働組合には、会社内の労働組合と会社外にある労働組合があります。すなわち、企業内労組と企業外労組です。みなさんもこのことはご承知だと思います。

企業外労組に駆け込むのは、このような表現は好ましくないかもしれませんが、いわば問題社員、不良社員と言えます。**不良社員が企業外労組に駆け込むのです。**不良社員が駆け込む先なので、これまた言い過ぎかもしれませんが、それを受け入れる側もゴロツキと言えます。社会保険労務士である私には中立性が求められます。中立をしっかり担保しないと処分の対象となり、懲戒処分を受ける可能性もあります。その一方で、私には表現の自由もあります。なので、あえて書かせていただきます。

駆け込みユニオンは「労働ゴロ集団」

社外の労組に駆け込む従業員は、ほぼ全員と言っても過言ではないと思いますが不良社員です。そして、そんな不良社員の受け皿になる企業外労働組合にはまともな組合は少なく、聞き慣れない言葉かもしれませんが「労働ゴロ」と言えます。つまり、**労働者のゴロツキということ。**ゴロツキとは、ろくでなしの人間を揶揄する言葉です。



私は企業内労組で労働ゴロを見たことはありませんが、経験から企業外の、いわゆる駆け込みユニオンはおおむね「労働ゴロ集団」と言えます。そして、**そんな労働ゴロ集団が経営者に対して一発かまし、脅かしてやろうと圧力をかけてくるのです。**

多くの経営者が「お金を払って終わりにしたい」と考えてしまう

経営者にかぎらずほとんどの人は、いきなり乗り込んできて会社の中で大声を出されるような経験をしたことはありません。そのため、そうした脅しを受けると経営者は大きなダメージを受けます。その結果、**「お金を払って終わりにしたい」と考えてしまう。そうした解決策をとるケースが非常に多いのです。**

そんな脅しをすることなく、真摯に会社との団交に臨むのであれば問題はないので、社外のユニオンでそういうところがあったら教えてほしいくらいです。私がそう思うほど、労働ゴロが多いのが現実です。

解決金の支払いは、ヤクザにみかじめ料を払うのと同じ

労働ゴロにからまれた時に顧問先は私に相談してくれますが、どうしていいかわからず、途方にくれる経営者もいるでしょう。しかし、社会保険労務士や弁護士など110番的な窓口はあります。佐賀事務所のホームページも駆け込み寺として誰でも見られるようになっています。

労働ゴロに屈してしまうのは、ヤクザにみかじめ料を払うのと同じです。会社は社会的存在です。公益性や社会性が高いものです。彼らは解決金と言ってきますが、解決金とはみかじめ料です。絶対に払ってはいけません。このことを肝に銘じてください。

ユニオンの結成には資格審査等を必須にしてほしい

一緒になって戦ってくる味方はいます。「あいつらはうるさいからお金を払ったほうがいいですよ」、**そんなアドバイスをする専門家は、もはや専門家とは言えません。**第三者委員会にしても株主総会にしても、最高経営責任者、代表取締役を守るためにあります。

労働ゴロのユニオンとタッグを組み、転職を繰り返し、そのつど恐喝的な団交を通じて戦利品をせしめる輩もいます。労働組合法は社会に必須不可欠な法律ですが、**ユニオンの結成には資格審査等の要件を設けないと、せっかくの法律が労働ゴロに食い物にされてしまうことを私は危惧しています。**

今回の南極フルマラソン、日本人の参加は私ひとり

続いては南極フルマラソンです。多くの方に関心をお持ちいただき、ブログの閲覧数も驚くほど増えました。ありがとうございます。

４年前の北極フルマラソンは２週間待っても開催されず、ノルウェー領のスバルバル諸島から泣く泣く帰るというつらい思いをしました。今回の南極は本当に天候もよく、予定通りに開催。帰国の日程も予定通りでした。**参加者は61人で、日本人は私ひとり。全員が完走です。**

南極の寒さを甘くみてしまった……

マイナス27度を走ることは事前にわかっていましたが、私は寒さを少し甘くみていました。参加者がそろったブリーフィングで私が思ったこと。全員がそうそうたるマラソンのキャリアを持ち主です。例えば**柔道では、座っている姿を見ただけで相手の強さがわかるように、マラソンもその人の立っている姿や所作を見れば、どれくらい速いか感じ取ることができます。**相手に飲まれたわけではありませんが、私は「みんな速いな」と感じました。

マラソンでは自分のポテンシャルを高めてスピードを上げるには薄着のほうがいいのです。そこで、私は薄着で走ることに決めました。上は長袖シャツ１枚にゴアテックスの上着だけ。下はタイツに薄手のパンツ。氷の上を走ると足が冷たくなるので靴下も３足履きを勧められましたが、私は厚手のもの１足にしました。

コース半ばで低体温症に陥る

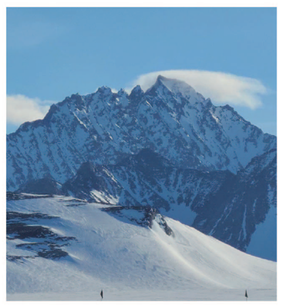
１周10キロ強のコースを４周するとゴールという設定でした。寒さに震える体に「走り始めればすぐ温かくなるから我慢しろよ」と言い聞かせてスタートしました。軽装なので体も軽く、**最初は順調に飛ばしたのですが、体はいっこうに温かくなりません。徐々に腕があがらなくなり、２周したところで低体温症に陥ったのです。**

低体温症になるとどうなるか。もちろん、体が動かなくなります。そして、しゃべっているのに全然違う感覚になってしゃべれないのです。強い吐き気も覚えました。眠気ではなく吐き気です。人によって症状は違うかもしれませんが、私はそんな状態に陥りました。とにかく苦しいのです。

20キロが100キロ以上に感じられた

また、吹きつける風を体が受け止めるのではなく、風が体を通過するような感覚になりました。もちろん錯覚ですが、本当に風が体を突き抜けるように感じられ、体温がどんどん奪われていく感覚に陥りました。

気力や気合いでこんな状態を打開することはできないと判断し、２周した時点で、いったんコースを外れて自分の寝床のテントに戻って服を重ね着しました。上は３枚追加し、下は２枚追加、靴下も２足追加です。そうして残りの20キロを走りました。体は少しずつ温かくなりましたが、いったん低体温症になってしまうと、心が折れたわけではありませんが体が受けたダメージには大きいものがありました。普段の身体能力に戻すことはできません。残り20キロを100キロ以上に感じました。北海道で100キロ、アフリカのサハラ砂漠で250キロのマラソンを走りましたが、こんなに長い20キロを経験したのは初めてです。



普段きつい思いを強いる走りをすべきだった

今回の失敗で、人に勝とうと競争することは大事ですが、捨て身で臨む競争は決して良い結果をもたらさないことが身にしみました。もし捨て身で臨むのであれば、事前に充分な準備をすべきなのです。しっかりトレーニングをして鍛える必要があります。

普段の私は平日の昼間は仕事があり、土日には格闘技の練習があります。そのため朝、体のパフォーマンスが上がる最適の距離として８キロ走っています。今回の南極フルマラソンもそれだけの準備で本番に臨みました。３月に豪雪で有名な青森県の酸ヶ湯にトレーニングに行きました（中止になった北極フルマラソンのため）が、一回行ったぐらいで寒さに強くなるわけはありません。氷の上を走るのであれば足に重りをつけて、実際に南極で走る靴でトレーニングすべきでした。毎日気持ちよく走るのではなく、きつい思いを強いる８キロにすべきでした。そして、たまには20キロやフルマラソンの距離を走るべきでした。

南極ではマイナス27度という普段とまるで違う環境を走るのです。**過酷な条件であれば、過酷な鍛錬を積んでおく必要があります。気力や気合いだけでは太刀打ちすることはできません。**今はその点を反省しています。

仕事でも新しいことへのチャレンジが必要

そして、景色が変わらないことに慣れる必要もあります。北海道の100キロマラソンで16キロのコースをまわる経験をしました。その時も意外にきついなと感じました。南極は一面が氷の世界です。どこを走っても景色がほとんど変わりません。山の角度が多少変わるくらいです。同じ景色ばかりを見て走っていると憂鬱になってくるのです。距離がより長く感じられます。

あるいは仕事も同じかもしれません。社会保険労務士の仕事でも、いろいろなことにチャレンジする。**同じことを繰り返すのではなく、新しいことへのチャレンジが生産性の高い仕事につながるのかもしれません。安易に仕事に置き換えるわけではありませんが、同じ景色の超過酷な環境の中を走ってみて、そう感じました。**

2025年4月、北極フルマラソンにチャレンジ

2025年の４月には北極フルマラソンにチャレンジする予定です。南極と北極の二大陸を走った日本人は、まだ50名弱。記録も大切ですが、記憶に残るようなチャレンジを続けたいと思います。

そのためには社労士道を邁進し、顧問先にしっかり貢献し、地に足をつけた仕事で報酬をいただけるように励みます。

置き忘れたプライドは南極でしか取り戻せないので、もう一度南極に行きたいと思っています。ただ一応完走し、合格メダルをもらうことができました。そこで七大大陸を制覇した後に復讐をかねて、もう一度南極に行きます。これが今の私の決意です。